

令和3年度事業報告について

I 観光情報の収集と情報発信

1 ⑨ふくいドットコムリニューアル事業（32,583千円）

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて本県の観光情報の発信強化を図るため、10年ぶりに県公式観光サイト「ふくいドットコム」の全面リニューアルを実施

〔リニューアルの主なポイント（令和4年3月リニューアル公開）〕

①「魅せる」サイトデザイン

- ・大きく魅力的な写真を多用し「見るだけで行きたくなる」デザインに一新
- ・スマートフォンでも最適表示できる「レスポンシブル・ウェブデザイン」の導入

②ユーザー（旅行者）目線で使いやすく ～「稼ぐ」につなげる

- ・「マイページ」機能、「現在地から近い順」表示機能の新設
- ・「テーマ別」「エリア別」メニューの新設
- ・グルメスポットはGoogle マイビジネスに誘導

③県民参加（「ふく旅ライター」）による情報発信

- ・移住者や子育て中の母親など、様々な立場から本県の魅力を旅行者に近い目線で伝える「ふく旅ライター」を選定。記事はアクセス数によるランキング形式で掲載

④SNS連携

- ・Open Graph Protocol に対応し、SNSからふくいドットコムへリンクを貼る際にクリック可能な大きな画像を表示

⑤DX/ITを用いた市町等とのデータ連携 ～タイムリーかつ効率的な情報発信

- ・観光スポット等の各情報を市町観光サイトとデータ連携できる機能を新たに搭載



2 ⑨SNSを活用した福井ファン拡大事業（6,368千円）

(1) インスタ映えスポット造成支援

県内で新たなインスタ映えスポットを造成する団体に対し助成を実施。整備したスポットについては、SNS等で周知したほか、専用ホームページを新設し随時完成情報を発信

募集期間	造成団体数
4月23日（金）～5月31日（月）	9団体
6月30日（水）～7月30日（金）	8団体



すてきなドア(高浜町)



三千色の陶あかり(越前町)



てぬぐい回廊(大野市)

(2) インスタグラムフォトコンテスト

- ・「私の好きな福井県」をテーマにインスタグラムフォトコンテストを2回開催

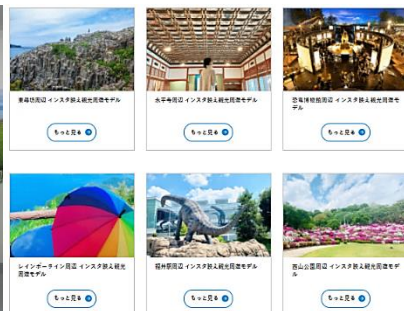
開催期間	投稿数
4月17日(土)～8月31日(火)	14,751件
10月1日(金)～1月31日(月)	11,803件



- ・県内インスタグラマー等によるグループ「ふくいインスタ love」を結成し、フォトコンテスト投稿写真を活用したインスタ映え観光周遊モデルを6つ選定
- ・フォトコンテスト投稿写真を活用した動画の制作・配信や観光周遊モデルを紹介するWEB記事を配信



ふくいインスタ love



観光周遊モデル(当連盟HP)



WEB記事(ふーぼ)

3 旬の魅力PR・発信事業(443千円)

県外の旅行会社や出版社、および海外の旅行会社等に対し、旬のイベント・食・土産等の「福井の季節イチオシ情報」を発信

- ・秋の観光情報の提供 6月
- ・冬の観光情報の提供 9月
- ・春の観光情報の提供 12月
- ・夏の観光情報の提供 3月

4 首都圏主要駅PR事業（2, 471千円）

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて福井県の観光スポットを首都圏にPRするため、観光情報発信拠点となる首都圏のJR主要駅に観光ポスターを掲出

期 間	掲出ポスター	実施場所
7月1日（木） ～7日（水）	FUKUI HAPPINESS 東尋坊バージョン	首都圏115駅170か所
9月23日（木・祝） ～29日（水）	FUKUI HAPPINESS 永平寺バージョン	首都圏115駅170か所
11月9日（火） ～15日（月）	極ポスター 越前がにバージョン	首都圏111駅170か所
2月22日（火） ～28日（月）	福井県× シンカリオンZ	首都圏118駅170か所



首都圏観光ポスター掲出例（上野駅・恵比寿駅）

5 新観光マップ作成事業（8, 276千円）

北陸新幹線福井・敦賀開業を控え、より一層の観光客誘致を図り、本県の魅力ある観光資源をアピールするため、8年ぶりに県観光情報マップの全面リニューアルを実施

〔リニューアルの主なポイント〕（令和4年3月リニューアル）

①手に取りたくなるデザイン

- ・全体的に優しいパステルカラーと、福井の美しい自然をイメージできるようなブルーを基調にデザイン
- ・連盟が展開しているインスタフォトコンテストに投稿された画像を採用し、フォトジェニックな風景やモノを配置することで、美しい紙面を作成

②ユーザー目線に立った仕様

- ・旅ナカの観光客等が県公式観光サイト「ふくいドットコム」に容易にたどり着けるよう、サイトのロゴとQRコードを分かりやすく配置

③旅マエに魅力的な福井旅のイメージを膨らませることができるコンテンツ紹介

- ・利用者が旅の目的に合わせて情報を探すことができるよう、ジャンル別ページ（「自然」「遊（アクティビティ）」「歴史」「食」）で紹介
- ・「〇〇百選」、「日本三大〇〇」、「〇〇認定」といった特別感のある情報を盛り込んだキャッチコピーなど、スポットの魅力を効果的に伝達
- ・福井の強みである「食」の情報を充実させるためページを倍増。「いちほまれ」や、「極」ブランドなど全国に強くアピールできる新たなブランドを追加
- ・人気のスポットを組み込んだ3つのモデルルートを提案し、旅マエに旅のルートをイメージしやすいよう工夫
- ・地図面のまち歩きマップについて、現行の福井駅周辺に加え敦賀駅周辺を追加



Ⅱ 国内・海外の誘客推進

Ⅱ－１ 国内からの誘客

１ バスツアー造成促進事業（６，２６３千円）

県外から本県へのバスツアーを企画する旅行会社に対し、助成を実施

※新型コロナウイルス感染症の影響により旅行会社によるバスツアーの造成販売が厳しい状況となったこと、およびマイクロツーリズム志向が高まったことから、以下のように柔軟に対応を行った。

①助成対象エリアを「北陸・東海・近畿以外」から「全国」に拡大

②送客人数の条件を「２０名以上」から「１０名以上」に緩和

③新たに「日帰りプラン」を助成対象に追加、ならびに県内での消費額条件を設定
〔送客実績〕 ５，６８４人

旅行会社 延べ３８社

バ ス ２１３台（宿泊プラン２７台、日帰りプラン１８６台）

２ 県外観光商談会開催事業（３，１７３千円）

関西圏を含む西日本エリア、中京圏、および首都圏を含む東日本エリアの旅行会社を対象に、新たな観光情報の提供と観光事業者から観光プランの提案を行うため、オンラインによる本県単独の観光商談会を開催

オンライン開催の特性を生かし、東北や四国・九州など従来参加できなかったエリアの旅行会社の参加を実現

対象エリア	開催日	参 加 人 数	
		旅行会社側	県内事業者側
西日本	６月２５日(金)	１５社 ３４名	３２団体 ５６名
中京圏	１０月２０日(水)	１４社 ２７名	３１団体 ５０名
東日本	２月８日(火)	２１社 ４０名	３１団体 ４８名
合計		５０社 １０１名	９４団体 １５４名



商談会の様子

3 出向宣伝等の営業活動事業（3,735千円）

（1）県内外のイベント等での観光PR

- ・本県への誘客促進を図るため、県外のイベント等に観光宣伝隊を派遣し観光PRを実施

実施日	観光PR実施場所
12月10日（金）～11日（土）	福井県物産展（愛知県）
12月18日（土）～19日（日）	お城EXPO（神奈川県）

※その他の予定していたイベントは新型コロナウイルス感染症拡大により中止



- ・福井県観光連盟が制作する「おもてなしオンラインセミナー」動画に観光宣伝隊の出演を調整（出演実績：4件 8名）

（2）県外イベントでのブース出展

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた「ふるさと全国県人会まつり（愛知県）」、「天皇杯全国都道府県対抗男子駅伝（広島県）」は中止

「ふるさと全国県人会まつり（愛知県）」については、開催の代わりに、読売新聞にて中京圏で楽しめる全国のご当地グルメ等を紹介する特集記事を掲載。越前そばやソースカツ丼を紹介することで福井のPRを実施

（3）観光宣伝隊向けの研修会の実施

- ・基礎研修

実施日：8月2日（月）

参加者：新しく加入した観光宣伝隊 4名

内 容：ア 言葉で伝える技術・話し方研修

講師：福井放送株式会社

アナウンサー 森本 茂樹 氏

イ 福井県の観光基礎情報研修・新幹線開業に向けた取り組み

講師：（公社）福井県観光連盟 コンベンション推進事業部

部長（CV誘致） 山崎 大輔 氏

講師：福井県新幹線開業課 総括主任 徳橋 尚人 氏



- ・全体研修

実施日：12月7日（火）

参加者：11名

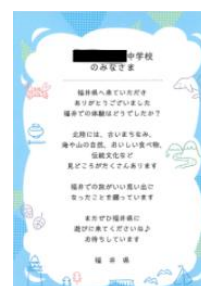
内 容：好感度アップの方法や相手に響く話し方

講師：フリーアナウンサー 土井 梨津子 氏

4 福井を学ぶ体験旅行推進事業（10,645千円）

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、本県への教育旅行のさらなる誘致促進を図るため、県外旅行会社・教育関係機関への営業や、福井ならではの体験プログラム造成への助成、教育旅行ガイドブック「学び旅」の改訂などを実施

- (1) J R 西日本、北陸三県、北陸経済連合会と連携し「北陸三県修学旅行説明会」を開催
参加旅行会社：計 58 社（首都圏 29 社、関西圏 19 社、中京圏 5 社、山陽地方 5 社）
※関東地区公立中学校修学旅行委員会、近畿地区公立中学校修学旅行委員会、首都圏旅行会社の現地研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止
- (2) 県外旅行会社への営業活動
県外から教育旅行の誘致を図るため、東日本や関西エリア等の旅行会社とのオンライン商談会において本県の教育旅行の素材を紹介したほか、県外旅行会社（長野県、群馬県、岡山県）への営業活動を実施
- (3) 物産観光情報提供会でのプレゼン動画掲載
首都圏に拠点を置くレジャー・旅行関係記者を対象にした「物産観光情報提供会」（東京事務所主催）において、プレゼン動画で福井県の教育旅行素材を紹介
- (4) 岐阜県小・中・高等学校校長会での提案資料配布
岐阜県との教育旅行の相互交流として、岐阜県の小・中・高等学校での校長会にて、本県修学旅行の提案資料を配布
- (5) 日本教育新聞への掲載
新型コロナウイルス感染症拡大により、本県への修学旅行の行き先変更が増加していることから、教育旅行専門紙（日本教育新聞）へ本県の素材の紹介記事を掲載
発行部数：233, 244 部
読者層：教育委員会、小・中・高の管理職、教諭、PTA、教育系大学ほか
- (6) 「日本観光ショーケース in 大阪・関西」への出展
全国の教育関係者が来場する展示会（日本観光ショーケース in 大阪・関西（3月25日（金）～27日（日）））へ出展し、本県への教育旅行の素材を周知
- (7) 修学旅行 P R 動画の制作（北陸三県連携事業）
昨年度制作した修学旅行用の P R 動画について、今年度は 3 本を追加制作し、youtube に掲載
- (8) J R 駅での修学旅行のお出迎えの実施（北陸三県連携事業）
北陸に修学旅行に来ていただいた学校に対し、歓迎の意を込めて J R 駅でのお出迎えまたはお見送りを実施
7 月：1 校、10 月：1 校、11 月：1 校、12 月：1 校 計 4 校
- (9) 県外学校へのフォローアップ
新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年訪れない近隣県等から本県への修学旅行が実施されていることから、コロナ収束後も継続して福井へ修学旅行に来ていただけるよう、学校に対して御礼状ならびに児童・生徒に対してメッセージカードおよびノベルティを送付
実績：修学旅行：63 校、7, 424 名
宿泊学習：62 校、5, 141 名



(10) 福井県教育旅行ガイドブック「学び旅」の送付

北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、首都圏からの教育旅行の誘致を推進するため、北陸新幹線沿線の群馬県・埼玉県および連合体輸送の申込みをしている千葉県の中学校に、福井県教育旅行ガイドブック「学び旅」を送付

群馬県 161部、埼玉県 416部、千葉県 377部 計 954部

(11) 受入体制強化研修

宿泊施設・飲食施設を対象に、学校の先生や旅行会社が宿や飲食店に教育旅行で求めていること、それに対応する工夫・ポイント、教育旅行で学生を受け入れるにあたっての注意点等を紹介する受入体制強化研修を実施

7月6日(火) 福井県国際交流会館 参加人数：34名

7月9日(金) パレア若狭 参加人数：15名 計49名

(12) 福井ならではの体験プログラム造成への助成

近年、探究学習が求められていることから、事前・現地・事後学習用のワークシート制作等にかかる経費を補助

実績：3件(東尋坊の地質学の学習(DMO さかい観光局)、若狭湾の海ゴミからSDGsを学ぶ体験(若狭三方五湖観光協会)、魚の神経締め・さばき体験(越前町観光連盟))

(13) 修学旅行における体験学習料助成

漁業体験、坐禅体験、ものづくり体験など、体験をした学校に対し、体験学習料相当額(上限1,000円)を助成

実績：22校、1,780名(他、日帰りになった等によるキャンセル8件)

(14) 教育旅行視察助成

本県への新たな教育旅行のルートを造成・検討するために行う視察に対して助成
実績：7名

(15) 福井県教育旅行ガイドブック「学び旅」の改訂

近年、SDGsに対する意識が高まっていることから、教育旅行ガイドブック「学び旅」の改訂に合わせて、県内のSDGs学習に関する素材を取りまとめた別冊集を作成



5 ⑧ 旅行商品開発サポート事業（9千円）

本県の観光素材を積極的に活用した旅行商品や周遊滞在型の旅行商品の造成を促進するため、旅行会社の社員等が本県を視察する際の費用に対し助成を実施

実績：1社1名（申請2社3名）

※ 旅行会社からの問合せは複数あったものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響により旅行会社の出張が制限されたことが要因で、実績は1社1名のみ

Ⅱ-2 海外からの誘客

1 国際観光推進事業（3,236千円）

(1) LINE 旅遊を利用した情報発信

台湾の個人旅行者向けにLINE 旅遊を利用し福井県の魅力を2回に分けて発信

・ 期 間：3月1日（火）～7日（月）（恐竜について）

3月8日（火）～14日（月）（三方五湖について）

・ 内 容：LINE 旅遊ホームページに記事広告を掲載、クイズイベント開催

(2) 「オンライン関西大商談会」への参加

台湾の旅行会社とオンラインで商談し、福井県の観光をアピール

・ 実施日：1月12日（水）、1月14日（金）、1月17日（月）

・ 参加者：台湾の旅行会社 計11社
県内事業者 計2団体

(3) 福井を訪問する旅行商品を造成し催行した旅行会社にバス代を助成

国内外の旅行会社と連携し、本県への旅行商品の造成を促進し、その実績に応じてバス代を助成 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度実績なし

2 台湾における観光営業力強化事業（6,400千円）

本県最大のインバウンドマーケットである台湾からのさらなる誘客拡大にむけて継続的に売り込む必要があるため、現地営業窓口を置き、本県誘客の営業を強化

(1) 現地イベント出展（初）

① 屏東・日本友好感謝祭への参加

現地イベント（屏東日本友好感謝祭）へ参加し福井県をPR（2月）

・ 主催および開催地：台湾屏東県（行政）

・ 1日あたり来場人数：約2,500人

・ 出展者：当連盟のほか、各都道府県や市町・観光連盟等、計44団体が参加

[実施内容]

・ 福井県ブースにおいてパンフレット等を配布し福井県をPR

・ 当連盟の繁体字版 Facebook を紹介しフォローを呼びかけ



(会場風景)



(ステージイベント)



(ブース風景)

②福井県オンライン台湾商談会

福井県会場と台湾会場をオンラインで結び、福井県の観光事業者と台湾の旅行会社との商談会を開催

- ・実施日：2月24日（木）
- ・参加者：台湾の旅行会社 17社
県内事業者 16団体（8団体：国際交流会館、8団体：リモート参加）



③オンライン情報交換会

連盟会員（市町、観光協会、観光事業者）、台湾旅行会社および当連盟等とのオンラインによる情報交換会を10回実施

（2）セールス活動

約100社の現地会社などに対してメールや電話も含めたセールス活動を実施

（3）情報発信

①福井県公式Facebook（SNS）による定期的な情報発信（週1回）

②メディア等への情報提供、記事掲載・取材等の働きかけ

- 〔10月〕 ・テーマ：道の駅「南えちぜん山海里」
・掲載ネットメディア：1社（LINE HUB）

- 〔12月〕 ・テーマ：ミライエ
・掲載ネットメディア：6件

（太陽網、Sina 新浪新聞、Pchome 新聞、Yam News、LINE HUB、Facebook「日本旅人塾 Japan Tabi」）

③B to C「LINE旅遊LIVE」観光セミナー

恐竜、三方五湖、東尋坊、あわら温泉、グルメ等について台湾のインフルエンサー2人がLINE旅遊アプリでLIVE配信し、236,521人が視聴（11月）



（ライブ配信風景）



（ライブ配信画面）

（4）その他

- ・報告業務

業務活動報告書を毎月1回確認し情報を共有

Ⅲ 地域活性化の推進と人材育成支援

1 観光客誘致体制強化事業（15,897千円）

民間の観光専門家を配置し、県・市町や県内観光事業者等との連携による誘客を促進
(1) 観光プロデューサーの配置

【活動内容】

- ・ 福井県の着地型旅行商品の企画造成および販売（第二種旅行業）
- ・ 大手旅行会社に対する商品造成に向けた助言、仕入部署への素材情報の提供
- ・ 教育旅行誘致促進活動（旅行会社各社への営業活動、観光商談の実施）
- ・ 教育旅行受入体制強化活動（受入体制強化研修の実施、各市町の支援活動）
- ・ 観光人財育成のための講演・講師派遣等（福井県観光認定ガイド養成講座ほか）
- ・ 県・市町観光ネットワーク会議（10月、3月）
- ・ 県や市町、観光協会等に対する助言、支援および関連委員などの受託

(2) 誘客アドバイザーの配置

【活動内容】

- ・ 首都圏からの誘客促進に向けた広報・宣伝（ＪＲ東日本「かにを食べに北陸へ。キャンペーン」等）
- ・ 旅行雑誌への特集記事掲載やＪＲ東日本駅ポスターでの集中宣伝
- ・ 北陸3県およびＪＲ西日本・ＪＲ東日本との広域連携
- ・ ＳＮＳ等を活用した誘客促進（インスタ映え観光周遊モデルの選定等）
- ・ トピックスに合わせた旅行会社の商品化企画提言
- ・ 国内、海外の旅行会社担当者およびマスコミ担当者への営業活動
- ・ オンライン観光商談会での観光ＰＲ活動の実施
- ・ 県や市町、観光協会等に対する助言、支援および関連委員などの受託
- ・ 県内観光関係者との連携による誘客促進

2 ＪＲ金沢駅内福井県観光案内コーナー設置運営事業（12,875千円）

ＪＲ金沢駅の「石川県金沢観光情報センター」内に福井県観光コンシェルジュの配置等を行い、北陸新幹線終着駅である金沢を訪れる観光客に対し、本県観光地のＰＲと本県への誘客を促進

(1) 福井県観光コンシェルジュの配置 3名

福井県の観光情報（観光地、イベント、交通アクセス、宿泊施設等）の提供

(2) 福井県の観光ポスター・パンフレットの設置

(3) 福井県の旅行商品（観光タクシープラン、恐竜博物館チケット）の取扱い



3 広域観光連携事業（1,500千円）

（1）北陸三県観光連盟共同事業

①北陸地区オンライン観光商談会

i) 首都圏・関西圏および全国各地の旅行会社等を対象に開催

- ・実施日：9月16日（木）、17日（金）
- ・場 所：金沢市文化ホール（オンライン参加併用）
- ・参加者：旅行会社 33社47事業所59名
（うち首都圏の旅行会社 18事業所22名）
（うち関西圏の旅行会社 16事業所22名）
北陸の観光事業者 53団体61名
（うち県内事業者 18団体24名）

ii) 関西圏の旅行会社等を対象とした北陸地区オンライン観光商談会

- ・実施日：2月28日（月）
- ・場 所：（事務局）福井市地域交流プラザ
※参加者はオンライン参加
- ・参加者：旅行会社 26社32事業所47名
北陸の観光事業者 50団体60名
（うち県内事業者 18団体24名）



9月商談会の様子



2月商談会の様子

②旅行雑誌等で特集記事を掲載

- ・「旅行読売」10月号（19万部）
「山と海を感じる旅へ 秋色に染まる北陸」
- ・「旅の手帖」12月号（10万5千部）
「冬の絶景に心癒される 北陸の名湯に出逢う」



「旅行読売」



「旅の手帖」

③フリーペーパーへの広告出稿

- ・「道の駅」旅案内 2022年春夏号
タイトル「爽快、北陸。こころの旅」
北陸版10万部、近畿版11万部、中部版16万部



④高速道路サービスエリアへのパンフレット設置

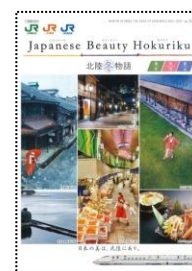
- ・3月の1か月間
※南条SA（下り）、尼御前SA（上り・下り）、小矢部川SA（上り・下り）、有磯海SA（上り）
※6SAで「福井県 越前・若狭観光情報マップ」等を設置

(2) 北陸三県誘客促進連携協議会（事務局 JR西日本金沢支社）

「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーンや「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーン（JR東日本、JR西日本、JR東海）に合わせた取組み

①「北陸物語」の発行への編集協力

- ・発行：年4回（夏・秋・冬・春）
- ・配布先：首都圏・関西圏・北陸エリアの主要駅などに配置



②「2022年度観光素材説明会」への参加

会場	ホテルグランヴィア大阪
実施日	10月28日（木）
参加者	JR西日本・四国、旅行会社、各県観光担当者 ・旅行会社 10社26名 ・各県観光担当者63団体75名（オンライン参加含む）

※東京、名古屋、福岡会場は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

③「北陸誘客促進会議」への参加

会場	黒部市宇奈月国際会館 セレネ
実施日	11月15日（月）
参加者	・JR東日本、JR東海、JR西日本 27名 ・各県観光担当者 16団体26名



会議の様子

④「Japanese Beauty Hokuriku」観光素材記者体験会

- ・開催日：1月19日（水）～20日（木）
- ・参加者：メディア 8社10名

⑤インフルエンサー招請

- i) インスタグラマー「6151」氏
 - ・取材日：12月14日（火）～16日（木）
- ii) You Tuber「散歩するアンドロイド」氏
 - ・取材日：1月12日（水）～14日（金）

4 着地型旅行商品企画販売事業<ツアーふくい>（10,943千円）

各市町や観光事業者等と連携し、県内の埋もれた観光資源などを発掘し、魅力ある着地型旅行商品を造成・販売

《催行実績》

	ツアー名	催行回数(回)	参加人数(人)
1	れいなんアート号（わかはくと絶景、エネルギー体験ツアー）	1	8
2	れいなんアート号（わかはくと若狭のニュースポット巡りと薬草を学ぶツアー）	1	18
3	れいなんアート号（わかはくとリフレッシュツアー）	1	12
4	重伝・今庄宿と北前船主の館・右近家、越前和紙の里をめぐる旅	1	7
5	若狭の伝統的な食文化を学んで味わう、グルメ旅	1	7
6	天狗党の乱の足跡をたどる	1	15
7	人道の歴史と年縞を学び、三方五湖の絶景をエンジョイ！	1	15
8	越美北線で行く 戦国列車モニターツアー	1	30
9	国登録有形文化財・重要文化財の博物館建築巡りツアー	1	20
10	龍馬とゆく 幕末福井の歴史探訪	1	9
11	福井の産業文化を体験！ツアー	1	12
12	錦秋の一日、美しい庭園に魅せられて	1	15
13	福井の自然を体感！ツアー	1	20
14	人気の「せいこ井」に、可憐な水仙&越前焼を楽しむ旅	1	14
15	スカイランタンとナイトいちご狩りの幻想的な夕べ	1	25
16	新たなウィンタースポーツ『雪板』体験会	1	12
17	ふくい de お得キャンペーン日帰りマイカープラン	407	1,036
18	越前・若狭周遊観光タクシー・プラン	62	157
	合 計	485	1,432



5 北陸新幹線開業に向けたふくいみやげ Re:デザイン事業（5, 869千円）

北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、昨年度立ち上げたお土産ブランド「キリトリップ」について、商品内容の見直しや新パッケージの製作、県内8店舗での店頭販売を実施

- ・概要：既存の県内土産品を小分けに包装し、SNS映えする統一パッケージでブランド化
県内を5エリアに分け、各エリアを代表するお土産品を選定
新たに福井のファンとなる20～30代女性層が主なターゲット
福井を旅したくなる観光地の情報や県内風景写真をパッケージにデザイン
- ・事業内容
 - ①既存商品（菓子類）を見直すとともに、新たに加工品類10種類を追加
 - ②観光情報を詰め込んだパンフレット型新パッケージを製作
 - ③キリトリップ公式SNSやふくいドットコム内特設ページにてPR
 - ④県内8店舗にて店頭販売を実施

【店頭販売概要】

・実施期間：12月20日（月）～2月20日（日）

・販売店舗：

かきみや ハピリン店、福福館 ハピリン店、東尋坊 七福屋、
オレボステーション 北鯖江PA上り店、あわら温泉旅館 まつや千千、
道の駅 南えちぜん山海里、南条サービスエリア、
JR敦賀駅交流施設オルパーク



6 地域活性化に取り組む団体の支援（1, 105千円）

（1）ボランティアガイド支援事業

福井県観光ボランティアガイド連絡協議会の事業活動に対する支援

・構成団体：県内観光ボランティア団体 16団体

①「まち歩き」の仕掛け方研修会の開催

新幹線開業に向けて、観光ボランティアガイドがお客様に満足いただけるスキルを身に着けるための研修会（研修後は観光モデルコースを作成）

講師：イベント、ツーリズムプロデューサー 茶谷 幸治 氏

（第1回）・開催日：7月8日（木）

・会場：武生商工会議所 パレット

・参加者：40名（10団体）

（第2回）・開催日：12月8日（水）

・会場：武生商工会議所 パレット

・参加者：23名（6団体）



②先進的な取組みの視察

- ・開催日：11月11日（木）
- ・訪問先：坂井市三国町
- ・内 容：NPO法人ボランティアガイドきたまえ三国による現地案内研修と意見交換会
- ・参加者：49名（11団体）



③福井の広域語り部発表・交流会の開催

※新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は開催なし

④地域住民対象研修会の開催

観光ボランティアガイド「若狭の語り部」が小浜市内にて実施

⑤小中学校「語り部」訪問活動

福井市春山小学校など16校訪問（8団体）

⑥ギブアウェイの作成

福井県観光ボランティアガイド協議会のまち歩きを紹介するウェットティッシュを作成し、各団体およびまち歩き参加者に配布

- ・作成部数：5,000個
- ・配布場所：各団体100部ずつ／事務局3,400個

（2）地域イベント等に対する支援事業

①後援・協賛事業

福井県観光連盟後援協賛要綱に基づき実施

後援・協賛金 12件 賞状 1件
名義使用 14件

②「あわら・三国広域観光推進協議会」との連携

「東尋坊 SUNSET2021」イベントの開催

・期 間：9月18日（土）～10月3日（日）



（3）ふくいやまぎわ天下一街道事業支援

ふくいやまぎわ天下一街道広域連携協議会の事業活動に対する支援

①道の駅越前おおの荒島の郷での出向宣伝

- ・開催日：11月20日（土）～21日（日）
- ・場 所：道の駅越前おおの荒島の郷（大野市）
- ・名 称：ふくいやまぎわ天下一街道 道の駅 越前おおの荒島の郷 出向宣伝
- ・内 容：県内外の観光客へのふくいやまぎわ天下一街道のPR

（プレゼントキャンペーン付きパンフレットの配布（900部）
福井県観光PRコーナーの設置、ノベルティ配付
メガネアクセサリ作り体験、缶バッジ作り（21日のみ）体験）

- ・来場者数：道の駅越前おおの荒島の郷全体

20日（土）4,123名、21日（日）5,117名



②ふくいやまぎわ天下一街道プレゼントキャンペーン

パンフレット裏面のQRコードから、アンケート回答者にふくいやまぎわ天下一街道の名産品（地酒、そば、とみつ金時、里芋、和紙小物、ペーパーナイフ等）をプレゼント

アンケート回答数：43件



7 北陸新幹線開業スタートアップ事業（554千円）

北陸新幹線福井・敦賀開業に向け受入環境のレベルアップを図るため、旅行会社を招聘した県内観光素材の視察および各市町および観光協会等と旅行会社との観光商品造成に関する情報交換会および商談会（県・市町観光ネットワーク会議）を実施

（1）旅行会社を招聘した県内観光素材の視察

- ・実施日：10月21日（木）～22日（金）
- ・参加旅行会社：7社

（日本旅行、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、東武トップツアーズ、阪急交通社、名鉄観光サービス、びゅうトラベルサービス）

- ・視察箇所：大野まち歩き、道の駅越前おおの荒島の郷、白山平泉寺、東尋坊、あわら温泉、一乗谷朝倉氏遺跡

（2）県・市町観光ネットワーク会議

〔第1回〕 実施日：10月22日（金）

会 場：JA福井基幹支店5階中ホール

参加者：市町・観光協会等32名、県・県観連8名、旅行会社8名 計48名

内 容：県、県観連事業に関する情報共有および講演会

旅行会社と市町観光協会等との商談会（20分×7ターム）

〔第2回〕 実施日：3月22日（火）

会 場：サンドーム福井小ホール（オンラインと併用して実施）

参加者：市町・観光協会等35名、県・県観連13名 計48名

内 容：県、県観連および各市町の次年度事業に関する情報共有および講演会

8 新 北陸新幹線開業おもてなしオンラインセミナー事業（2, 215千円）

北陸新幹線福井・敦賀開業に向け、県内観光事業者のおもてなしレベルの向上を図るとともに、県民一人ひとりが県の魅力を理解し誇りをもって発信できるよう、様々な分野のオンラインセミナー動画計19本を制作し当連盟ホームページで無料配信

	動画タイトル
1	福井県の観光、今、これから ～北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて～
2	福井県の概要とコンベンション開催支援のご案内
3	ようこそ福井へ！お客様へ福井の魅力を伝えよう！
4	電話での観光案内のポイント
5	実践しよう！県民 one アクション
6	広がる！おもてなし宣言291の輪 ～ハピリン～
7	インバウンドの未来 ～今すぐできる準備と心構え～
8	新幹線開業に向けたインバウンド対策
9	SNS映えする写真を撮ろう！
10	福井をぶらりとおもてなし ～あわら市編～
11	福井をぶらりとおもてなし ～福井市編～
12	福井をぶらりとおもてなし ～越前市編～
13	福井をぶらりとおもてなし ～敦賀市編～
14	福井のディープな体験旅（忍者体験（若州忍者道場）編）
15	福井のディープな体験旅（チロルリボンのバッジづくり（エイトリボン）編）
16	「コミュニケーションと伝え方のスキルアップ」座学編
17	「コミュニケーションと伝え方のスキルアップ」実践編
18	福井の食の豆知識 ～水ようかん～
19	福井の食の豆知識 ～越前おろしそば～



9 新 観光トライアル応援事業（843千円）

民間事業者の活動を応援するための新たな取組みを小規模で試行的に実施

(1) ロールアップバナースタンド制作（2本）

- ① 福井のおすすめインスタ映えスポット
 - ・県内17市町各1箇所のインスタ映えスポットを紹介
- ② 福井の名城
 - ・県内城跡11箇所をピックアップして紹介



(2)「ふく旅カード」の作成

旅ナカでの県内観光情報提供を強化し、周遊を促すきっかけづくりや立ち寄り先を増やすツールとして利用してもらえるよう「ふく旅カード」を作成し、県内観光案内所や道の駅などに設置

- ・カードのスポット数：20か所（インスタ love メンバーと連携して選定）
- ・設置個所：6か所（福井市観光案内所、敦賀観光案内所、道の駅恐竜溪谷かつやま、レインボーライン、グランディア芳泉、福井県観光連盟）



10 ⑧年縞を核としたサステイナブルツーリズム実証事業（8,709千円）

環境省の「国立・国定公園での滞在型ツアー推進事業補助金」の採択を受け、「年縞」を核とした三方五湖の魅力を感じられる滞在型ツアーの造成や、地域の魅力を伝える地域愛溢れる人材育成等を実施

(1) ガイドツアーの企画造成

①三方五湖の湖畔を電動キックボードで巡るガイドツアー

モニターツアー実施日：11月28日（日）PM

場 所：三方湖・菅湖・水月湖湖畔

参加者：7名



②三方湖をカヤックで散策するガイドツアー

モニターツアー実施日：11月28日（日）AM

場 所：三方湖

参加者：9名



③立命館大学中川教授による年縞ガイドツアー

モニターツアー実施日：12月8日（水）～10日（金）

場 所：県年縞博物館、レインボーライン、日向湖ほか

参加者：9名

(2) ツアーコースを紹介するマップ制作

(3) 造成したツアーを旅行会社等に販売するためのセールスシートの作成

(4) おもてなし人材の発掘・年縞パタパタブック（年縞紹介リーフレット）の制作

(5) 国内外の販路構築

造成したツアーを体験商品紹介サイト（OTA）「AttractiveJAPAN」に掲載

(6) 特集ウェブサイトの企画・制作

(7) サステイナブルツーリズムの仕組みの構築

IV コンベンション振興事業

1 コンベンション開催助成金事業（216千円）

コンベンション開催に伴う地域経済の活性化を図るため、県内でコンベンションを開催する主催者に対して開催助成金を交付

・交付実績：2件

※31件の助成金申請を受けていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどのコンベンションが開催中止、延期、オンライン開催に変更

2 コンベンション誘致・活用推進事業（14,607千円）

(1) コンベンション誘致職員の配置

誘致活動を行う民間の専門家を1名配置し、誘致活動の体制を強化

(2) 誘致のための営業活動

①誘致活動

・訪問による開催支援制度の紹介

件数：延べ195件（うち県外82件、県内113件）

訪問先：県外および県内の学会・大会本部、大学、各種団体、旅行会社、PCO（学会運営業者）等

・開催支援制度説明会

実績：7回（6月 福井大学、7月 福井工業大学、9～10月 県立大学）

・メールによる開催支援制度の紹介 件数：延べ1,594件

・YouTube、HPによる開催支援制度等を紹介する動画の配信

②視察誘致

本県でのコンベンション開催を検討中の主催団体に対し、県内会場視察等に係る費用を助成し、県内開催を誘導

・視察実績：2件（12月、3月）

③業界誌等への広告出稿・掲出

コンベンション主催団体等が閲覧する業界誌・新聞等や主催団体等の本部支部が多く所在する地域のJR駅構内において、本県でのコンベンション開催を訴求する広告を出稿・掲出し、広く周知

・広告出稿実績：6件

福井新聞、日刊県民福井（9月）

産経新聞 東海北陸版（9月）

日本工学会年報（11月）

金沢大学医学部同窓会会員名簿（12月）

月刊MICE Japan（2月）

MICEプランナーズガイド（3月）

・広告掲出実績

関西・北陸地区での広報強化を目的に、JR京都駅、JR金沢駅構内において広告を掲出（期間：3月1日（火）～31日（木））

④開催予定調査の実施

令和4年度以降のコンベンション開催予定の調査（調査対象：県内関係機関 約500団体）を行い、コンベンションスケジュールを作成し、HPで公開（3月）

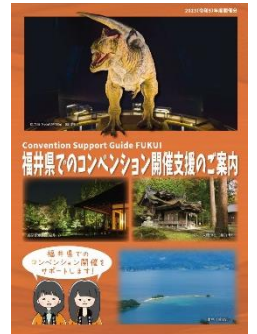


(3) コンベンション広報・宣伝事業

本県での開催を促すために、開催助成金等の支援メニューを掲載したパンフレットや新たに県内のユニークベニュー施設を紹介したMICE施設ガイドを作成し、コンベンション主催者に配布

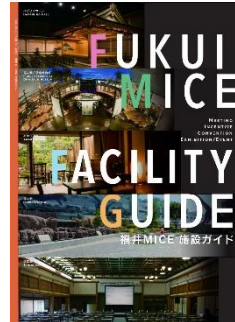
①支援案内パンフレット

- ・タイトル：福井県でのコンベンション開催支援のご案内
- ・内容：開催助成金等の支援メニューの紹介
- ・部数：5,000部



②施設情報パンフレット

- ・タイトル：福井MICE施設ガイド
- ・内容：県内会場施設、宿泊施設の情報に加え新たにユニークベニュー施設を掲載
- ・部数：1,000部



③MICE パンフレット

- ・タイトル：福井MICE Planners Guide
- ・内容：ユニークベニュー、本県らしいおもてなし等を紹介
- ・部数：500部（日本語版）



(4) MICE誘致のためのイベント出展

①EXPAT EXPO TOKYO2021

日程：11月5日（金）～6日（土）

場所：東京都立産業貿易センター

内容：訪日インセンティブ旅行を扱う会社等と商談7件



②第31回 国際MICEエキスポ（IME2021）

日程：令和3年2月16日（水）～17日（木）

内容：オンライン開催。事前アポイント制により開催主催者と商談11件

③日本観光ショーケース in 大阪・関西

日程：令和4年3月25日（金）～27日（日）

場所：インテックス大阪

内容：商談7件



(5) 国内外の関係団体とのネットワーク構築事業

①コンベンション市町連絡会（県・市町）

日程：10月22日（金）、3月22日（火）（県・市町観光ネットワーク会議中）

内容：コンベンション開催助成金の予算措置等を依頼・説明

②JCCBコンベンションビューロー部会

日程：1月13日（木） オンライン開催

③中部コンベンション連絡協議会

日程：9月30日（木）、1月31日（月） オンライン開催

④4都市コンベンションビューロー連携会議（鳥取・浜松・長野・福井）

日程：12月2日（木） 東京都で現地開催

（6）その他の活動

・コンベンション歓迎支援事業

J R 駅周辺店舗に歓迎ステッカーを掲示し、歓迎ムードを創出

実施件数：2件（6月：福井駅にて2件）

・コンベンション支援物品作成

M I C E 誘致用のノベルティ（縁起柄木製コースター、越前和紙懐紙）

・コンベンション管理システム保守・改修

開催予定調査や営業活動から収集したコンベンション情報をデータベース化したコンベンション管理システムの改修を実施

V DMOによる地域づくり推進

1 ⑧観光地域づくりマネージャー等設置事業（24,092千円）

全国で観光地域づくりやホテル運営、コンテンツづくり等に優れた実績を持つ観光の専門人材を設置し、市町や地域の観光事業者等に対する指導・助言や、新たなコンテンツ開発等を実施

（1）専門人材の設置

・佐竹 観光地域づくりマネージャー（紀尾井町戦略研究所 上席コンサルタント）

地域に寄り添いながら、観光プレイヤーの発掘・支援、DMO設立・活動支援など、観光で「稼ぐ」地域づくりを展開

・於保 観光ブランドアップ・スーパーバイザー（元星野リゾート総支配人）

食や宿泊施設の伝統工芸など地域資源とのコラボレーションによるブランディングモデルを構築

・松尾 観光アクティビティ・スーパーバイザー（元ディスカバー東広島プロデューサー）

先駆的なアクティビティ、コンテンツ、ニューツーリズム開発モデルを構築



観光地域づくり
マネージャー
佐竹 正範



観光ブランドアップ・
スーパーバイザー
於保 孝志



観光アクティビティ・
スーパーバイザー
松尾 章子

・筒井 インバウンドアドバイザー（元エイチ・アイ・エス）

県内事業者を訪問・巡回し、インバウンド受入環境整備を推進

（Wi-Fi 整備、キャッシュレス決済、免税店対応、外国語表記）

(2) 福井県DMOサミットの開催

当連盟が今年度支援した観光プレイヤーによる新たな観光コンテンツ開発、その他県内DMO等による事例発表、および情報交換会を実施

事例発表

開催日：3月22日（火）

場 所：サンドーム福井 会議管理棟小ホール

参加者：120名



2 ⑧ 地域の観光を担うプレイヤー支援事業（15, 180千円）

(1) 観光地域づくり推進事業補助金

新たな地域ブランドや宿泊スタイルの創出、魅力的な土産品や体験コンテンツの開発など、民間プレイヤーが行う新規性があり地域への波及効果が見込まれる取組みに対して助成

- ・対象事業：Ⅰ 観光プレイヤーによる地域の稼ぐ力の向上につながる「商品開発・情報発信」「観光コンテンツの開発」「ニューツーリズムの推進」
- Ⅱ 観光事業者等による「宿泊施設」「食」と本県固有の地域資源を掛け合わせた尖ったコラボモデル・先駆的な「体験」「アクティビティ」プログラムのモデル構築

・補助実績：13事業者



スマホ操作式電動レジャーボート
(三方五湖DMO (株))



日本酒酒粕足湯
(福井商工会議所 (美めぐりふくい))



雪板滑走体験
(奥越前まんまるサイト)

(2) 福井県観光アカデミー「観光ビジネス創造コース」の開催

新たな観光ビジネスの創造に取り組む人材を育成するアカデミーを開催（全9回）

- ・学長：(株) JTB 取締役相談役 田川博己氏
- ・講師：(株)美ら地球 代表取締役 山田拓氏
- ・修了者：21名



3 ⑧外部専門家等活用事業（8, 464千円）

（1）外部専門家派遣制度

「食」「宿泊」「土産品」「体験」など様々な分野のコンテンツ開発やプロジェクト主導等の実績のある専門性の高い人材を派遣し、観光プレイヤーの課題解決に向けたアドバイスを実施

派遣実績：10件（延べ24件）

（2）他地域のモデルプレイヤーとのネットワーク構築

他都道府県の実例となる観光プレイヤー等とネットワーク構築（観光投資や事業連携を推進）

4 マーケティング調査事業（6, 077千円）

（1）ふくい旅 答えてHAPPINESSプレゼントキャンペーンの開催

マーケティング手法確立のためのQRコードを用いたトライアルアンケートを実施。専用キャンペーンページの作成、ポスター、チラシ、POP等を県内施設に配布

期 間：2月1日（火）～2月28日（月）

設 置 数：13市町17か所

回 答 数：796名



（2）観光客満足度調査実施事業

DMOの必須KPIとして観光客の満足度やリピーター率の調査を実施

（3）福井県観光マーケティングデータの提供開始

観光DX推進の一環として、福井県観光データ分析システム「FTAS (FUKUI Tourism data Analyzing System)」(略称：エフタス)の提供を開始

①ふくいドットコムアクセスデータの提供

②主要観光地人流データの提供

(au スマートフォンから得られる GPS の位置情報)



データ画面

VI 新型コロナウイルス感染症への対応

1 ⑧ コロナ禍における県内観光推進事業（4, 991, 994千円）

（1）宿泊旅行割引事業（2, 019, 331千円）

- ・期 間：4月1日（木）～3月31日（木）
- ・割引率：旅行代金の50%
- ・上限額：4月～12月 5,000円、1月～3月 平日10,000円・休日5,000円
(7/9～8/31、10/1～12/31は10,000円へ増額)

※12月からは近隣5府県にも対象を拡大

（富山県・石川県・滋賀県：12/15～、岐阜県：12/17～、京都府：1/4～）

（2）県内日帰り周遊プラン割引事業（1, 199, 151千円）

- ・期 間：5月21日（金）～3月31日（木）
- ・割引率：旅行代金の50%（上限5,000円）

（3）県内教育旅行経費支援事業（247, 422千円）

- ・期 間：4月1日（木）～3月31日（木）
- ・割引率：旅行代金の50%（上限5,000円）

[利用実績（(1)(2)(3)の合計）]：731, 565人（※令和3年度精算分（R4.2月末まで））

〔うち宿泊 279, 399人（うち近隣県8, 160人）
うち日帰り 452, 166人（県民のみ）〕

（4）クーポンプレゼント事業（1, 278, 436千円）

- ・期 間：5月14日（金）～3月31日（木）
- ・クーポン：【宿泊旅行】宿泊料金15,000円以上 → クーポン券3,000円分発行
(うち1,000円分はタクシー・レンタカーのみ利用可能)
宿泊料金 6,000円以上 → クーポン券2,000円分発行
【日帰り旅行】旅行代金 4,000円以上 → クーポン券2,000円分発行
※日帰り旅行のクーポン配付は11月2日予約分まで
- ・クーポン精算枚数：1, 152, 213枚（令和3年度精算分（R4.1月末まで））
- ・クーポン取扱店舗：2, 094施設

（5）県内貸切バス助成事業（171, 479千円）

- ・概 要：北陸三県民が貸切バスを利用して域内旅行を行う場合のバス料金を助成
【助成額】貸切バス運賃・料金の1/2（上限：1台1運行あたり75,000円）
- ・期 間：4月1日（木）～3月6日（日）
- ・実 績：2, 938件、バス4, 649台、80, 094人

（6）県内観光推進事業（令和2年度未精算分）（76, 175千円）

令和2年度に実施した当該事業の未精算分

2 ⑨ 宿泊事業者による感染防止対策等支援事業（1, 176, 776千円）

宿泊施設における感染症対策を見回り確認・指導するとともに、感染症対策を前提として行う物品等の購入や前向きな投資に対して補助を実施

- ・見回り確認・指導済み施設数：485施設
- ・感染症対策に資する物品購入や前向き投資等に対する補助件数：544件

Ⅶ 組織運営等

1 定時総会・理事会の開催

(1) 定時総会

①第1回定時総会

開催日：6月16日（水）

場所：福井県国際交流会館

審議事項：令和2年度事業報告および収支決算（案）について
役員の選任について 他

②第2回定時総会

開催日：3月25日（金）

場所：福井県国際交流会館

審議事項：令和3年度補正予算（案）について
令和4年度事業計画（案）および収支予算（案）について 他

(2) 理事会

①第1回理事会

開催日：5月27日（木）

場所：福井県国際交流会館

審議事項：令和2年度事業報告および収支決算（案）について
役員の選任について 他

②第2回理事会

開催日：6月16日（水）

場所：福井県国際交流会館

審議事項：副会長の選定について

③第3回理事会

開催日：10月13日（水）

場所：書面決議

審議事項：令和3年度会費について
新規加入会員の承認について

④第4回理事会

開催日：3月10日（木）

場所：書面決議

審議事項：令和3年度補正予算（案）について
令和4年度事業計画（案）および収支予算（案）について 他

(3) 正副会長会議

①第1回正副会長会議

開催日：5月21日（金）

場所：福井県宝永分庁舎103会議室

審議事項：令和2年度事業報告および収支決算（案）について
役員の選任について 他

②第2回正副会長会議

開催日：3月4日（金）

場所：福井県宝永分庁舎103会議室

審議事項：令和3年度補正予算（案）について

令和4年度事業計画（案）および収支予算（案）について 他

（4）監事会

開催日：5月14日（金）

場所：福井県宝永分庁舎103会議室

監査事項：令和2年度事業報告および収支決算（案）について

2 観光功労者等の表彰

多年にわたり観光事業の発展に功績があった者および観光事業に永年従事し、他の模範となる者を表彰

開催日：6月16日（水）

場所：福井県国際交流会館

内容：観光功労者2名、優良観光従事者1名の受賞を報告

※新型コロナウイルス感染症の影響により、被表彰者は出席なし

3 その他活動紹介

（1）観光資料・写真の貸し出し

（2）観光名刺の作成

（3）各種団体の会議・大会および各種イベントへの観光資料の提供

（4）ネクスコ中日本が発行している「北陸道楽」で福井県の観光地や食の情報を発信

（5）（公社）日本観光振興協会・中部支部事業参加

（6）北陸広域観光推進協議会事業参加

（7）北陸観光協会等の事業協力

（8）県内経済団体との交流提携

（9）観光開発PTへの参画 他



4 関係団体の行う事業への負担金支出

（公社）日本観光振興協会が実施する全国観光振興事業に対する拠出

・魅力ある観光地域づくり事業、観光人材の育成事業、広域観光推進事業、インバウンド推進事業などの全国観光振興事業に対する拠出

・（公社）日本観光振興協会HP「全国観るなび」（<http://www.nihon-kankou.or.jp>）による県内観光情報の発信等